

社会体験研修実施要領

1 目 的

地域社会と学校との連携による教育活動、又は地域の事業所等における体験活動を通して、教職員の社会性の向上を図るとともに、学校や教職員に対する地域社会の信頼を高める。

2 対象（以下、「対象者」という。）

・若手教職員研修（3年目研修）

該当の教諭、助教諭、常勤講師（臨時的任用及び任期付任用を除く。）、養護教諭、栄養教諭、実習助手、事務職員及び教育庁等職員（主任主事、主事、文化財保護主事、学芸員等）

・中堅教諭等資質向上研修

該当の教諭、助教諭、常勤講師（臨時的任用及び任期付任用を除く。）

3 計画の立案

・対象者は所属長の指導の下、関係機関等との連絡調整を密に行い、自主的に立案する。

・研修内容は、次のものを推奨するが、学校の実情に応じて実施してよい。

（3年目研修の場合）

事業所等における体験活動を行い、地域の実態を把握する。

（中堅教諭等資質向上研修の場合）

ミドルリーダーとして、地域社会と学校との連携による教育活動を企画・運営する。

4 研修内容及び日数等

次の（１）又は（２）について、原則として在勤地で行う。

（１）事業所等における研修

① 内容（例示）

・原則として学校以外の公的機関において業務に従事する。ただし、適切な公的機関がない場合は民間の事業所等も可とする。

・危険を伴う業務、自動車等の運転を伴う業務は対象としない。

研修機関の例	認められない例
<ul style="list-style-type: none">・公的機関（役所・役場、図書館や公民館等の社会教育機関）・民間法人企業（会社、農協、漁協等）・民間個人事業所（農業、漁業、商店等）・福祉施設（老人ホーム、介護施設、認可保育所等）	<ul style="list-style-type: none">・塾、予備校等・各種専門学校等・該当者の親族や知人が関係する事業所・布教を主な目的とした宗教施設

② 研修期間・日程

・原則として、土・日・祝日及び学校閉庁日を除く長期休業中の勤務日3日（連続しなくてもよい）で行う。詳細は関係機関等と協議して決定する。

③ 研修先への依頼

・所属長は、**研修依頼書（様式1）**、**研修承諾書（様式2）**及び**社会体験研修協力をお願い（別紙）**を研修先に送付し、**研修承諾書（様式2）**を受領して、保管する。

(2) 地域と連携した研修

① 内容（例示）

- ・ 地域と連携した教育活動の企画・運営
（例）総合的な探究（学習）の時間等における地域と連携した取組、児童生徒が行う職場体験等における受入れ先の新規開拓
- ・ 地域で行われている社会教育活動への参画・運営
（例）子ども会の活動、公民館等の活動
- ・ 行政と地域が連携して開催する活動等への参画・運営
（例）「しま体験事業」「障害のある方とのふれあい交流講座」
- ・ 学校支援会議等に係る業務への参画
（例）学校支援会議の事務補助

② 研修期間・日程

- ・ 原則として、土・日・祝日及び学校閉庁日を除く勤務日3日（連続しなくてもよい）で行う。
詳細は校長の判断のもと、関係機関等と協議して決定する。

5 研修に伴う費用

- ・ 公的機関、民間の事業所等に関わらず謝金は支払わない。また、研修は無報酬とし、謝礼等を受け取ってはならない。
- ・ 旅費は支給しない。

6 研修で発生した事故等への対応

- ・ 研修先での業務に伴うけが等の事故は公務災害の扱いとする。
- ・ 研修先での業務に伴って、製品や作業道具等を破損した場合の弁済責任については、業務を行う上で予想される範囲内であれば、原則として研修先の負担とする。
なお、個々のケースについては別途協議する。

7 報告書の提出

それぞれ該当する経年研実施要項・細目で確認すること。

令和2年度長崎県公立学校教職員研修
社会体験研修協力をお願い

1 目的

学校と地域社会との情報交換を進め、両者が連携して教育環境を築いていく契機とします。

- (1) 教師が社会の現状を身をもって体験することで社会的視野を広げます。
- (2) 児童生徒が生活している地域または自分が生活している地域の様子を知ることによって日頃の指導の充実を図ります。

2 研修内容・業務

該当者は、研修先において具体的業務に携わることを通して研修を行います。

※ ただし、次のような業務には従事できません。

- 高所作業、危険物取扱い等の業務
- 漁業で漁に出る業務
- 自動車等の運転を伴う業務

3 研修期日・日程

- (1) 土・日・祝日および学校閉庁日を除く勤務日のうち3日間とします。
- (2) 研修日程は 8:30~17:00 を目安とし、研修要件に定められた時間を受入事業所の業務に合わせて設定してください。

業務日程の詳細については、該当者と事業所等で協議の上決定してください。ただし、夜間および早朝勤務は避けてください。

4 研修期間中の勤務等

出退勤や遅刻・早退等の勤務状況に関する確認をお願いします。

5 研修に伴う費用

- (1) 通勤に必要な旅費については、該当者に支出する必要はありません。
- (2) 次に示すような研修の際に要する費用は、事業所にて負担をお願いします。
 - ① 事業所での業務に必要な消耗品、作業衣等の購入費用
 - ② 事業所で借用した作業衣等の洗濯費用
 - ③ その他、業務に伴って発生する経費
- (3) 研修は無報酬としています。該当者への賃金・謝礼は一切必要ありません。

6 研修で発生した事故等への対応

- (1) 事業所での業務に伴う怪我等の事故は公務災害の扱いとし、該当者の加入している保険が適用されます。
- (2) 事業所での業務に伴って、製品や作業道具等を破損した場合の弁済責任については、業務を行う上で予想される範囲内であれば、原則として事業所にて負担をお願いします。
ただし、個々のケースについては別途協議させていただきます。

様

〇〇〇〇立〇〇〇〇学校
校長 〇 〇 〇 〇

長崎県公立学校教職員研修 社会体験研修の実施について（依頼）

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、長崎県公立学校教職員研修の一環として、下記職員の「社会体験研修」を計画いたしました。

つきましては、貴事業所に対し御負担をおかけいたしますが、別紙「社会体験研修協力をお願い」の記載内容を御確認賜り、研修について御高配くださいますようお願い申し上げます。

なお、御承諾の上は、別紙様式により御回答くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

研 修 人 数 計 人	職 名	氏 名	性 別	研 修 の 期 間
				～
				～
				～

※別紙として、承諾書様式（様式2）と「社会体験研修協力をお願い」（別紙）を添付する。

〇〇〇〇学校長 様

事業所名
代表者名

長崎県公立学校教職員研修 社会体験研修の実施について（回答）

このことについて、下記のとおり承諾いたします。

記

事業所名				
所在地				
担当者				
電話番号 FAX番号	()	—		
	()	—		
研修人数 計 人	職 名	氏 名	性 別	研 修 の 期 間
				～
				～
				～
従事職種及び 業務内容				